

8-4-1 技術委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

技術委員会を奇数月に6回（5, 7, 9, 11, 1, 3月）開催した。

技術委員会を開催しない偶数月もメール等を活用し、協議と情報交換を実施した（委員会・専門委・WGの月次報告、技術部会・常任理事会の審議・指示事項の周知・対応など）。

(2) 品質セミナーの開催

平成12年度から継続開催している「品質セミナー（エラー防止のために）」を、10月に技術委員会／照査特別WGにより全国9支部で開催し、参加者1303名（協会員等1137名、発注者団体166名）であった。また、愛知県、長野県及び東京都にセミナーテキストの資料提供及び講師を派遣した。

(3) 「調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会」の対応

品質確保に向け、三者会議不具合事例の分析ならびに課題の対応策を検討し、本懇談会資料作成を実施した。

(4) 意見交換会や協議への参加

本省技術調査課との意見交換対応として、i-Construction関連協議（ICT土工関連対応、推進コンソーシアム対応等）、NETISシステムに関する意見交換、橋梁修繕工事に関わる入契方式会議等に参加した。

(5) 国総研・土研との意見交換会の開催

10月に国総研・土研との意見交換会を開催し、要望と提案事項を協議するとともに、技術テーマである①建設生産システムの生産性向上について、②大規模災害への対応について、意見を交わした。

(6) 共通仕様書、標準歩掛の改訂要望の提出

現行の共通仕様書及び標準歩掛について国交省技術調査課に対して改訂要望を提出した。共通仕様書は3月に改訂版が公開され、標準歩掛は4工種について平成29年度に実

態調査が予定されている。

(6) 技術委員会の横断的活動（主要事項のみ）

- ① 国総研研究評価委員会委員として、国総研研究に対する意見具申を行った。（平成28年7月、平成29年1月に委員会開催）
- ② 技術課題対応WGおよびその下部組織として3つのSWG（CIM対応SWG、公益活動SWG、業務体系SWG）の活動を継続した。
- ③ 「業務研究発表会」の企画・運営に参画し、平成28年9月13日に開催した。（論文応募数77編、参加者数287名はいずれも過去最多）
- ④ 雑誌「土木施工」の編集委員として参加した。

2. 次年度の活動について

本年度事業を引き続き実施する。

- ① 事業計画に基づく技術委員会、各専門委員会、WGの定例的活動
- ② 技術委員会が対応すべき分野横断的な諸テーマの検討、特に技術課題対応WGにおける課題について早期に対応すべきものの確実な実施
- ③ 技術部会からの指示事項の検討
- ④ 業務研究発表会開催と他行事の対応・支援
- ⑤ エラー防止活動（照査特別WG、品質向上推進特別WG）の継続
- ⑥ 「調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会」への対応
- ⑦ NETIS
- ⑧ RCCM 自主学習・教材の作成・更新
- ⑨ 国交省等調査への対応
- ⑩ 土研、国総研との技術交流
- ⑪ 白書・対外活動への支援、他

（技術委員会委員長 松田 寛志）